

平成 30 年度入試【編入学一般入試】問題

## 小 論 文

(総合理工学部 建築・生産設計工学科)

### 注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 ページ,解答用紙 2 枚 (下書き用紙 1 枚) である。  
指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 問題紙は持ち帰ること。

【問題 1】

現在、興味を持っている現代建築を一つ取り上げ、その建築的特徴について、建築構造、平面計画、周辺環境含む配置計画、ファサードの外観と外壁仕上げ材料等の具体的な観点から専門用語を用いて説明すること。また当該建築物の設計者について代表的な作品を取り上げつつ説明すること。

【問題 2】

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

建設業界においても AI の導入が検討されている。設計図面はすでに CAD (Computer-aided Design) によってデジタル化が達成されており、構造計算も省エネ指標も専用のコンピューターソフトで算出できる。AI がこれらデジタルツールに応用される未来は、皆さんが本学科を卒業する頃には訪れているかもしれない。そこで、建設業界の中で AI に取って代わる可能性のある職種、逆に AI では代用できない職種を、それぞれその理由を添えて挙げよ。さらに、AI に雇用を奪われる将来に、自分がやりたい仕事は何か、論述せよ (字数制限 600 字)。

参考文献

- 1) 「この記事、AI 記者が書きました」中部経済新聞 70 周年特別企画, 2016 年 11 月 1 日朝刊紙面
- 2) 「日本の労働人口の 49%が人工知能やロボット等で代替可能に」株式会社野村総合研究所 News Release, 2015 年 12 月 2 日